

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成29年度 第1回入間市総合教育会議
開 催 日 時	平成 29年6月16日 (金) 午後2時30分 開会、午後4時45分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	田中龍夫、西澤泰男、河村佳樹、高山茂、橋本清美
欠席委員(者)氏名	今井美帆
説明者の職氏名	企画課政策推進室長 岩田正博、公共施設マネジメント推進課長 浅見泰志、教育長 西澤泰男
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨 拶 3. 報告事項 (1) 平成30年度版実施計画の策定について (2) 公共施設マネジメント事業計画(素案)について 4. 協議・調整事項 (1) 教育施策の方向性について (2) その他 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	<p>資料１：平成３０年度版実施計画策定における基本方向</p> <p>資料２：公共施設マネジメント事業計画（素案）</p> <p>資料３：公共施設マネジメント事業計画（素案）について</p> <p>資料４：子ども未来室事業リーフレット</p> <p>資料５：縦１系統でのトイレ改修に要する概算額（予定）</p>
関係者職氏名	<p>○総務部</p> <p>公共施設マネジメント推進課長 浅見泰志</p> <p>○教育部</p> <p>教育部長 齋藤光明、教育部次長 新見輝明</p> <p>教育部参事兼学校教育課長 松本武雄、教育総務課長 齋木茂男</p> <p>教育総務課主幹 鹿山泰隆</p>
事務局職員職氏名	<p>○企画部</p> <p>企画部長 加藤保夫、企画部次長 國田清男</p> <p>企画課政策推進室長 岩田正博、企画課政策推進室主幹 新屋朋徳</p> <p>企画課政策推進室主査 森正行、企画課政策推進室主任 小島秀章</p>
会議録作成方法	<p>要点筆記</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

<報告事項>

(1) 平成30年度版実施計画の策定について

平成30年度版実施計画の策定にあたっての概要を企画部より説明。

(2) 公共施設マネジメント事業計画（素案）について

公共施設マネジメント事業計画（素案）の概要について、総務部より説明。

地区懇談会等を実施し、今年度中に事業計画を確定する予定である。

<協議・調整事項>

(1) 教育施策の方向性について

・小中一貫教育の推進について

小中一貫教育の取り組みについて、今後も教育委員会と市長部局で連携を図り、推進していくことを確認した。

・教育施設的环境整備について

トイレ改修、学童保育室の老朽化、待機学童等の問題について協議し、公共施設マネジメント事業計画との調整も図りながらの今後の検討課題とした。

(2) その他

・給食費の公会計について

給食費の公会計化について協議し、今後に向けて研究していくこととした。

・LGBTについて

本人への配慮や学校現場での教育の必要性について協議し、今後の検討課題とした。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
加藤部長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p><進行：加藤部長></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 平成30年度版実施計画の策定について</p> <p>企画部より説明願う。</p>
岩田室長	<p>「平成30年度版実施計画の策定」について、資料に沿って説明する。</p> <p>(資料1「平成30年度版実施計画策定における基本方向」について説明。)</p>
加藤部長	<p>ただいまの説明について質疑等あるか。</p>
河村委員	<p>こども支援部の事業費枠について、平成30～32年の3年間とも約42億円となっているが、この中にはこども医療費も含まれているのか。</p>
岩田室長	<p>こども医療費の事業費も含まれており、毎年4億1千万円程度を見込んでいる。</p>
加藤部長	<p>こども医療費についての補足として、防衛省から特定防衛施設周辺整備調整交付金(※)が交付されているが、この交付金は全額こども医療費の基金に積みたてており、財源の一部となっている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>するため、調整会議を行っている。劣化診断を進めている中で、全面的な改修を行う場合は、居ながら工事ができない可能性があることが判明したため、調整会議の中で、一定期間の業務の移転についても課題として検討を行っている。</p> <p>業務委託の成果として、3月末に劣化診断と改修計画が提出されたが、その内容が、想定していた約15億円の整備費では足りず、約32億円もの費用がかかるという試算が出たため、4月から再調整を行っている。</p> <p>現在は、想定していた15億円の範囲で出来る改修範囲の絞り込みを行っており、その結果によっては入居している各機関の引っ越しの必要性はなくなる可能性もある。</p> <p>調整結果についてはもう少しお待ちいただき、方向性が定まった時点で、あらためて報告をさせていただきたい。</p>
加藤部長	<p>ただいまの説明について質疑等あるか。</p>
高山委員	<p>「公共施設マネジメント事業計画」の策定に当たっては、各地区で懇談会を4回程度実施するとあるが、市民と行政が共通認識を持つための具体的な計画とのことなので、しっかりと実施してほしい。</p> <p>小中学校について、9地区に1施設ずつ設置するとのことだが、児童・生徒の通学距離・通学区域等をしっかりと考えて、統廃合を行う必要がある。</p> <p>図書館分館は廃止し、小学校に図書館分館機能等を備え複合施設として整備するとのことだが、既存の学校の図書館も並立するのか。</p>
浅見課長	<p>一つに統合できればと考えているが、セキュリティの問題など課題もいくつかあるので、具体的にはこれからの検討となる。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>学校図書館法では、学校に図書館を設置しなければならないと規定されている。図書館分館と学校図書館が統合した場合、市の図書館としてではなく学校図書館としての位置づけで、運営・管理を学校長が行う必要がある。</p> <p>また、学校では図書館を使った授業もあるため、その時には一般の来館者をどうするかなど、教育の質を高めていくために、しっかりと考えていかなければならない。</p>
浅見課長	<p>地区懇談会については、6月～11月にかけて各地区4回程度実施するが、市民の意見を聞いて、市民と行政の共通認識の下に方向性を決めていきたいと考えている。</p> <p>図書館については、学校図書館の充実に向けて、ながらく要望をいただいているところであるが、なかなかできていないのが現状である。地域図書館として統合することで、図書館の機能を充実させることができないかということで計画している。具体的なレイアウトや運営の問題については、今後の検討課題とさせていただきたい。</p>
田中市長	<p>小中学校を統合する際に、施設はどうするのか。増築するのか、または既存の施設を使うのか。</p>
浅見課長	<p>具体的にはそれぞれの施設ごとに、教育委員会と協議しながら決めていくことになる。第1段階としては、既存の施設を使って統合ができないかを検討する。時期によっては大規模改修と重なる施設もあるので、そういった施設では増築や建て替えも視野に入れての検討となる。また、地域の人口の動向等も注視しながら計画を立てていく必要もあるので、なるべく効率的に進めていきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>整備パターンとして、どちらかの小中学校に統合するという案となっているが、どちらかの学校に統合するのではなく、学校の間地点に新たな学校を作るということは考えていないのか。</p>
浅見課長	<p>それも考えられる。例として、宮寺小学校と狭山小学校を挙げると、宮寺小学校の児童数が減少していることを踏まえて、第1段階として狭山小学校に統合し、その後、狭山小学校が老朽化した段階で新たな場所に施設を設けるということも考えられる。</p>
河村委員	<p>小学校の複合化・多機能化について、市民サービスの機能を学校に付加するイメージとして感じるが、どうか。</p>
浅見課長	<p>現段階で検討している複合の要素としては、学童保育室、図書館分館、地域交流スペースを挙げている。図書館分館については、学校図書館の充実にもつながることを想定している。地域交流スペースについては、地域の方の居場所という意味合いだけでなく、学校に対して地域の人材の活用、学習への寄与といった要素も考えられる。</p>
河村委員	<p>地域交流の考えも分かるが、小学校の教育現場に行政のサービス機能をつけるというイメージにとられないようなやり方をお願いしたい。</p>
西澤教育長	<p>9地区に小中学校1校ずつとなると、地域ごとの割り振りが難しいと思われるが、どのように検討を進めていくのか。</p>
浅見課長	<p>児童・生徒数や通学路の問題等の課題があるので、地区懇談会等で市民意見を聞き、教育委員会とも調整しながら進めていきたい。具体的な時期については、未定である。</p>

発 言 者	発 言 内 容
加藤部長	<p>(3) 藤沢南学童保育室の工事について</p> <p>次第にはないが、藤沢南学童保育室の工事について、企画部より説明願う。</p>
岩田室長	<p>藤沢南学童保育室改築工事及び藤沢南第二学童保育室（仮称）創設工事については、平成29年6月6日（火）に株式会社内藤ハウス埼玉営業所と工事請負契約を締結したので、概要を報告する。</p> <p>藤沢南学童保育室は、老朽化及び定員を超えての入所者に対応するため、既存の学童保育室を解体、新たに2階建ての学童保育室を設置し、1階を藤沢南学童保育室、2階を藤沢南第二学童保育室（仮称）とする予定である。工期については、平成29年6月6日～平成30年3月16日となっているが、実際の工事は7月20日の終業式後に開始し、夏休み期間中に既存の建物を解体、二学期から建築工事に取りかかる工程である。工事期間中は、本校舎2階図書室内の閲覧室と和室を仮学童保育室として使用することとなる。</p>
加藤部長	<p>ただいまの説明について質疑等あるか。</p>
田中市長	<p>工事期間中は、図書室を仮学童保育室とするとのことだが、図書室になればスペースも広くなるので、待機学童がいるのであれば入室者を増やした方が良いのではないか。</p>
加藤部長	<p>現在、待機学童は全体で87名いる。この件については、担当課に確認し、可能であれば解消に向けて対応していきたい。</p>
西澤教育長	<p>新しい学童保育室は1階・2階で定数は何人なのか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田室長	1階40人、2階40人の計80人が定数である。
西澤教育長	入室見込み数はどのくらいなのか。80人の定員で解消できるのか。
岩田室長	現時点では見込み数を把握していないため、担当課に確認し改めて報告する。
加藤部長	今まで藤沢南学童保育室は1学童しかなかったが、2学童にすることによって、当面は待機学童を解消できるのではないかと見込んでいる。
加藤部長	<p>4. 協議・調整事項</p> <p>(1) 教育施設の方向性について</p> <p>はじめに、「小中一貫教育の推進について」教育委員会より説明願う。</p>
西澤教育長	<p>入間市教育委員会では、乳幼児期から高校・就労まで、入間市に育つすべての子どもたちの自立支援をするため、「子ども未来室事業」を推進している。保育・幼稚園と小学校との連携、小学校と中学校との連携、中学校と高等学校との連携を実施することで、なめらかな接続ができるよう支援を行っている。その一連の中でも、入間市が特に力を注いでいるのが小中一貫教育であり、小学校から中学校に上がるときに生じやすい不登校や学力低下等の解消に向けた取組みを、全国でも先駆けて実施してきたものと認識している。小中一貫校（義務教育学校）と違い、小学校と中学校でそれぞれ学ぶ場は離れているが、一つの地域の学校として子どもたちを9年間育てているという考え方で進めている。</p> <p>小中一貫教育の取り組みとして様々なことを実施しているが、入間市特有の取り組みとして、各小学校に一人ずつ小中一貫サポーターを配置しており、小中学校間の連携強化に繋がっている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	入間市の小中一貫教育については、ようやく成果が出始めてきたと感じており、今後も事業を続けていくために、市長部局と連携していきたいと考えている。
加藤部長	ただいまの説明について、何か意見等があれば願う。
田中市長	小中一貫サポーターに掛かる経費はどのくらいか。
齋藤部長	平成30年度の実施計画に計上した金額としては、1,485万円である。
田中市長	小中学校が9地区に1施設ずつの配置となった場合は、小中一貫サポーターはどうなるのか。
西澤教育長	小学生の中学校へ対する不安感を取り除くための支援として実施しているものであり、変わらずに続けていくことになる。
加藤部長	「小中一貫教育の推進について」、他に意見等あるか。 ＜意見なし＞
加藤部長	続いて、「教育施設の環境整備について」、教育委員会より説明願う。
西澤教育長	教育委員会として、教育施策の充実に向けた事業を予定しているが、その中でも特に重点項目として要望したいことが、縦1系統でのトイレ改修についてである。これまで、耐震補強に重点をおいて事業を進めてきたことから、施設の老朽化に伴う改修、施設整備が遅れているのが現状である

発 言 者	発 言 内 容
	<p>が、学校トイレの洋式化及び環境衛生面での改善については、早急な対応が求められている。これまで、学校のトイレに対して不具合や老朽化等が生じたときには、可能な限り改修し洋式化を図ってきているが、臭い等の原因は配管であり、縦系統の単位でまとめて改修を行わないと臭い等の解消には繋がらない。</p> <p>平成29年度の実施計画では、要求は認められたが、予算化の段階で認められなかったので、平成30年度ではぜひ認めていただきたい。予算が限られている中での要望であるが、1年に1系統でも改修していただきたいと思っている。</p>
加藤部長	<p>ただいまの説明について、何か意見等があれば願う。</p>
高山委員	<p>学校は災害時等の避難場所にもなるため、トイレ改修をして、ぜひ綺麗なものにしていきたい。</p>
橋本委員	<p>学校によっては、体育館等で男女共同となっているトイレがあるが、男女別にはならないのか。</p>
齋藤部長	<p>その件については、6月定例議会の一般質問にも挙がっており、現在、小学校7校の体育館のトイレが男女共同となっている。</p> <p>7校の体育館トイレを男女別する整備計画は今のところないが、短期的な計画の中で事業を進めていきたい。ただし、公共施設マネジメントや小中学校の統廃合等いろいろな計画があるので、各計画とのすりあわせを行った中で、実現可能な施設をリストアップして進めていきたい。</p>
田中市長	<p>資料「縦1系統でのトイレ改修に要する概算額（予定）」中の小中学校における棟毎のトイレ状況の見方について、「×」となっているところは</p>

発 言 者	発 言 内 容
齋木課長	<p>すべて和式ということか。</p> <p>「×」は全部和式という意味ではなく、縦系統での洋式化をしていないという意味である。老朽化や破損等により、個別改修で一部洋式化されたトイレも「×」中には含まれている。</p>
田中市長	<p>トイレの洋式化や体育館トイレの男女別化など様々な課題があるが、すべて同時に出来るわけではないので、どうしても優先順位が生じてくる。小中学校の統廃合の方向性が決まれば、改修が必要なトイレの優先順位が決まってくるので、統廃合の方向性は早急に作る必要がある。</p> <p>また、トイレ改修の問題だけでなく、学童保育室の老朽化や待機学童等の様々な問題がある。すべて解決しなければならない問題ではあるが、その中でも、どれが最優先なのかというところを見極める必要がある。</p>
加藤部長	<p>市長部局としては、学童保育室や待機学童等の様々な問題がある中で、公共施設マネジメントの関係も踏まえながら、無駄な支出のないよう計画的に実施していかなければならないと考えている。</p>
齋藤部長	<p>こども支援部及び教育委員会では、充足できるものは充足に向けて、学校現場の意見を聞きながら待機学童解消に向けて進めていきたいと考えている。</p>
加藤部長	<p>学童保育室と学校の関係については、この会議時間中に議論しきれない部分もあるので、また次回の会議等で議題としていただければと思う。</p> <p>「教育施設の環境整備について」、他に意見等あるか。</p> <p><意見なし></p>

発 言 者	発 言 内 容
加藤部長	<p>(2) その他</p> <p>これまでの議論の他に協議事項等あれば発言願う。</p>
田中市長	<p>市内中学校で発生した教員の不祥事等について、教育委員会から意見を伺いたい。</p>
西澤教育長	<p>教員の不祥事の件については、臨時校長会議を2回開いた。また、各学校に設置している倫理確立委員会に対して、今後の対策等について計画的に進めていくように説明しており、今後は、倫理確立委員会の中で対策及び総点検がどの程度できているか確認していく。また、定期的に学校訪問を実施しているため、その際に教職員の倫理確立について、具体的にどのような対策をしているのか確認し、必要に応じて指導していきたい。</p>
高山委員	<p>信頼を回復するのは容易なことではない。風通しの良い職場環境作りが必要であり、教育委員会として、同じことが起こらぬよう対策を講じていく必要がある。</p>
西澤教育長	<p>事件が発生した原因について、倫理確立委員会の中で分析・検証し、改めて学校現場の服務規律の確保に努めていかなければならないと感じている。</p>
河村委員	<p>先生方は相談できる場所がなくストレスを抱え込んでしまっているようである。教育委員をもっと利用してもらいたいが、先生方にとっては心理的な抵抗があるのかもしれない。教育委員が先生方の受け皿となれるような相談体制を、今後作っていく必要があると感じている。</p>
田中市長	<p>コミュニケーションを取り合うこと、また、やってはいけないことを常</p>

発 言 者	発 言 内 容
加藤部長	<p>に自覚できるような風通しの良い職場環境づくりが大切である。問題解決に向けて、市長部局と教育委員会で協力していきたい。</p> <p>他に協議事項等あれば発言願う。</p>
田中市長	<p>学校給食費の公会計の問題とLGBT（※）については、今後、市長部局と教育委員会で議論をする必要がある。現時点で、何か意見があるか。</p> <p>※LGBT</p> <p>LGBTとは、L（レズビアン＝女性同性愛者）、G（ゲイ＝男性同性愛者）、B（バイセクシャル＝両性愛者）、T（トランスジェンダー＝生まれた時の生物学的・社会的性別とは一致しない、又は囚われない生き方を選ぶ人などを表現する包括的な言葉。性同一性障害も含む。）の人々を意味する頭字語。</p>
西澤教育長	<p>学校給食費の公会計化については、給食費の取扱額が大きく、ほとんどの市町村で実施していないのが現状である。給食費を公会計化することで、市の歳入歳出に計上されることになり、安定した給食運営が図られることになると思われるが、その反面、給食費の徴収について、学校を介さなくなることにより未納者が増加しないか等の課題もある。</p> <p>上記課題等も踏まえて、給食費の公会計化については、研究をしていきたいと考えている。また、学校給食費の取り扱いについて、チェック機能の強化のため、学校給食課と連携し、学校に対して監査を実施していくことを検討している。</p>
田中市長	<p>学校の先生方の負担を軽減させる意味でも、公会計化した方が良いと考える。未納者等の課題については、また別の視点から考えていけばよい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>のではない。すぐではなくても、できるところから実施して欲しい。</p>
高山委員	<p>学校現場は多忙であるため、お金を取り扱わないようになれば、先生方の負担も軽減されると思われる。</p>
西澤教育長	<p>学校給食費の公会計化に向けては、多額のお金を取り扱うことになり事務量も増加すると思われるため、対応にあたっては市長部局とも連携していきたい。</p> <p>LGBTについては、図書を購入し各学校に1冊ずつ配布している。図書室ではなく保健室に設置するなど、LGBTの方に配慮した環境は作っているが、それ以上のことはなかなかできていない。</p> <p>LGBTの問題として、本人が誰に相談していいかわからないということがあり、親に隠していることを、教員が把握できていないというのが現状である。しかし、教育現場としては、積極的に考えていかなければならない問題であると認識している。</p>
田中市長	<p>LGBTの方の割合は、男女共同参画の市民意識調査によると2%となっている。（法務省資料では3～5%）</p> <p>大切なことは、誰がLGBTなのかということではなく、いろいろな考えの人がいるということを子どもたちに理解してもらうことであり、LGBTに関して教育をすることが重要であると考え。子どもたちが理解を深めれば、学校でも自分がLGBTであることを伝えやすくなるのではない。</p>
高山委員	<p>思春期を迎える子どもたちであるため注意が必要であり、難しいと考え</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>る。また、実施にあたっては先生たちにも研修を行い、理解を深めてもらう必要がある。</p>
田中市長	<p>教育にあたっては注意が必要だが、どのように実践していくか研究していったほしいと考える。</p>
加藤部長	<p>それでは、時間も限られているため、協議・調整事項についてはここま でとさせていただきます。</p> <p>今後、定例議会で教育委員会関係の質問等があれば、こういった会議の 中で意見交換の場を設けさせていただきたいと考える。</p>
加藤部長	<p>5. その他</p> <p>事務局から連絡事項を申し上げる。</p>
岩田室長	<p>今後の開催予定について、昨年と同様に年4回程度とし、次回は9月頃 を予定している。詳細については、未定であるが、市長部局と教育委員会 で調整し、整い次第連絡させていただく。</p>
加藤部長	<p>6. 閉会</p> <p>以上で閉会とする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>平成29年 7月 18 日</p>	
<p>市 長 の 署 名</p>	<p>田中 龍夫</p>
<p>教 育 長 の 署 名</p>	<p>西澤 泰男</p>